

岡山・鳥取両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備に向けた共同アピール

百年に一度と言われる厳しい経済情勢の中にあっても、地方が活力を失うことなく自立的に発展していくためには、県境を越えた広域経済圏の形成や都市間交流・連携を促進することなどにより、将来にわたって持続可能な地域を創造していくことが重要である。

特に、産業振興や観光振興に向け、岡山・鳥取両県の県境を越えた交流を促進するとともに、大山隠岐国立公園や瀬戸内海国立公園などの豊かな観光資源を結ぶ地域づくりを支援するためには、交通・物流の基盤となる高規格幹線道路、地域高規格道路の整備が喫緊の課題となっている。

また、高速道路ネットワークにミッシングリンクが生じている状況は、経済発展を阻害するばかりか、緊急医療や災害時等の安全・安心を脅かし、広域行政への支障をきたすことから、国家的な損失であると言わざるを得ない。

これらの整備を着実かつ早急に進めるため、国の経済危機対策にも「21世紀型インフラ整備 - 地域連携と競争力強化の基盤整備」が重点施策として位置付けられており、国が責任を持って行う直轄事業の財源確保とともに、今年度創設された地域活力基盤創造交付金制度の確立を含めて地方の道路整備のための財源を確保する必要がある。

ついては、岡山・鳥取両県として、次の事項について、政府が取り組まれるよう強く要望する。

- 1 岡山・鳥取両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備を国家戦略として最優先で早期に完成すること。

中国横断自動車道「姫路鳥取線」の整備促進

佐用～西粟倉間、河原～鳥取間を一体として、公表された供用予定時期に遅れることなく早期に完成させること。

中国横断自動車道「岡山米子線」の4車線化

今回の高速道路料金の引下げにより、休日を中心に大幅に交通量が増加していることから、岡山JCT～賀陽IC間、落合JCT～蒜山IC間の4車線化を早期完成させるとともに、残る区間についても4車線化に早期に着手すること。

地域高規格道路「北条湯原道路」の整備促進

「倉吉道路」の整備促進を図るとともに、真庭市蒜山初和から真庭市蒜山下長田までを調査区間に指定すること。

- 2 国の経済対策においては、地域のポテンシャルを発揮させ、景気浮揚、雇用創出効果の大きい地方の高速道路ネットワークの整備を一層促進すること。
- 3 渋滞解消、交通安全、防災、維持管理など、県民の安全・安心や地域の自立に不可欠な道路整備のための財源を安定的に確保すること。
- 4 地域活力基盤創造交付金については、地方の実情に柔軟に対応できる制度設計としたうえで、道路整備が遅れている地域に対してより重点的に配分するよう、運用を工夫すること。

平成21年4月23日

岡山県知事 石 井 正 弘

鳥取県知事 平 井 伸 治